

---

# 黒電話の向こう側

カレンハートフィリア

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

黒電話の向こう側

### 【Nコード】

N1365I

### 【作者名】

カレンハートフィリア

### 【あらすじ】

絶対にではいけない電話がある。

昔ながらの黒電話には、その電話にでると死ぬという恐ろしいわさがあった。

みなさんはしっているだろうか。

黒電話を。

そう、あのダイヤルに指をいれてまわす、昔の電話だ。

その電話には、こんな話がある。

あるとき奇妙な電話がくる。

「もしもし」

と、問いかけてもかえってくる返事は

「いま、君の家の前にいるよ」

「いま、そっちにむかっているよ」

など、一方的な返事しかかえってこない。

しかも、1回の通話で1言しか言わないため、何回もかかってくる。

鬱陶しい話である。

しかし、これはいたずらなどではない。

この電話がかかって来た者には、「死」という未来がまっているという。

ジリリリリリリリリ

ガチャ

「はい。もしもし」

「いま、君の家の前にいるよ」

「え？」

ガチャ

「え？あ ちよつと」

ツー ツー ツー

「なんなんだよ・・・」

ジリリリリリリリリ

ガチャ

「もしもし」

「いま、廊下にいるよ」

「は？」

ガチャ

「廊下にいるっていったけど電話がおいてあるのは廊下だからありえないんだけどなあ。まあいいや

電話の子機を部屋にもっていきつ

ジリリリリピッ 「コキイチシヨウチユウ」

「ねえ、廊下にいなかったんだけど」

「いま、君の部屋の前にいるよ」

「え？おい、ちょっと」

ガチャ

「なんなんだよこれ！イタズラにもほどがあるだろ！だいたい誰がかけてきているんだよ！」

ジリリリピッ

「おい！いいかげんにしろよ！」

「いま、君の後ろにいるよ」

「えっ……」

グチャ！

ボトボト

カラン

ドサッ

「……物騒よねえ」

「どっしたの？」

「おくさんしってますっ？」

「え？なにを？」

「ほら、むかいのおくさんのごともが」

「ああ、首を切って自殺したっていう」

「まったく物騒な話よねえ。ごともが包丁をもってるだなんてねえ」

「まったくねえ」

ジリリリリリリリリリ      ジリリリリリリリリリ

「あ おくさん電話がなっているわよ」

「あら本当いつけない。はい、今でますよおー！」

ジリリリリリリリリリ      ジリリリリリリリリリ

ジリリリリリリリリリ      ジリリリリリリリリリ

(後書き)

どうでしたか？

私の初めての投稿作品です。

よければ批評でもいいので、感想をお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1365i/>

---

黒電話の向こう側

2010年11月28日06時14分発行